

NTT DATA

# AWS人財育成の取り組み CloudBasket研修の ご紹介

NTTデータ モバイルビジネス事業部

# はじめに

NTTデータテレコムユーティリティ事業本部 モバイルビジネス事業部 の事例紹介になります  
※NTTデータ国内事業会社の全体を指していないことにご注意ください

## 本日はNTTデータ モバイルビジネス事業部が推進する AWS育成研修「**CloudBasket**」についてご紹介します







# 研修開催の背景

# クラウドエンジニアが直面している外部環境

## 人材不足

2030年には最大約79万人  
経済産業省がIT人材不足を警告

## 新情報のキャッチアップ

新機能がバンバン登場！  
アップデート追従が求められる

## 専門性の拡大

デジタルへ向けたスキルチェンジ  
採用される技術も多様化

# 弊事業部に期待されるクラウド人材

## より**即戦力**

- サービスの提供スピードが価値となる時代
- 案件参画後、立ち上がりのスピードも期待される

## より**高スキル**

- 技術のコモディティ化、誰でも簡単に触ることができる
- より実践的な領域での活躍が期待される

# 日常業務だけでは都合よく育成できない

今の業務経験は次に  
活かせるのだろうか...？



- 業務で利用するクラウドサービスなら詳しい...
- クラウドを学びたいが機会がない...
- 周囲のエンジニアとの接点が少ない...

# 日常業務だけでは都合よく育成できない

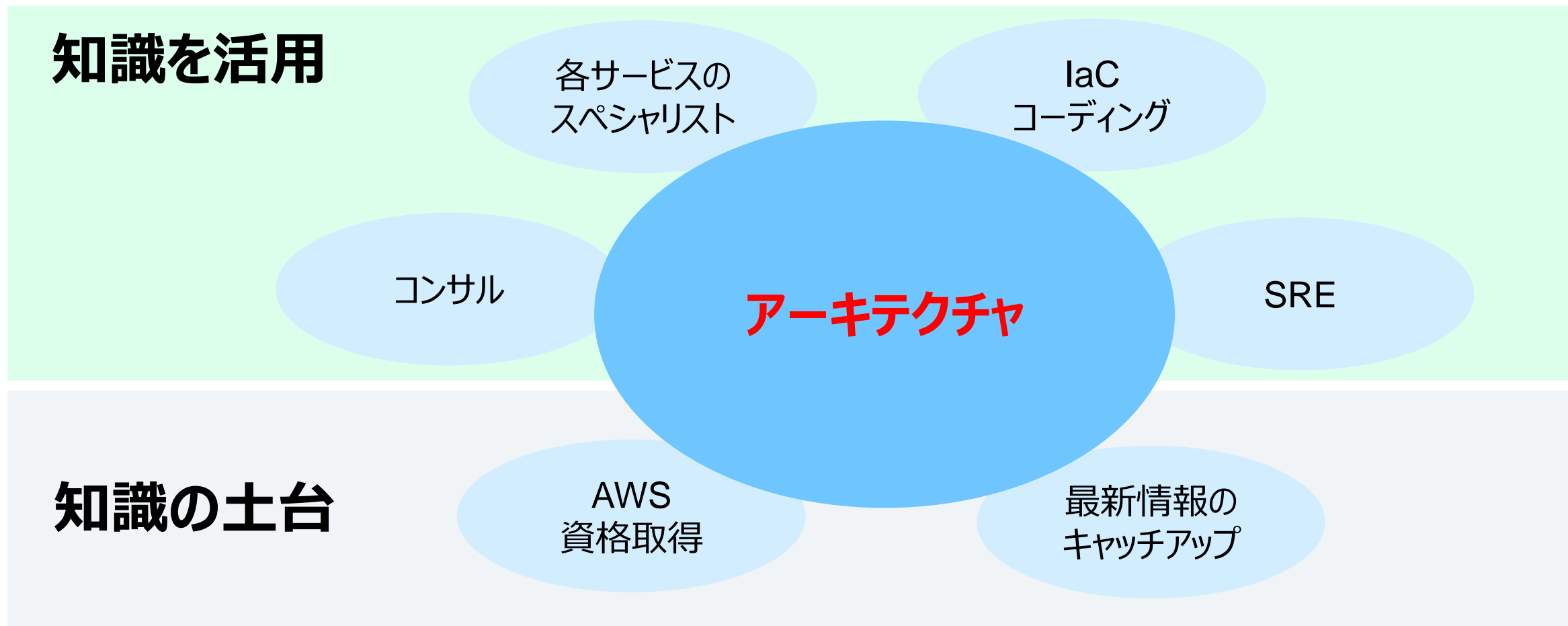
今の業務経験は次に  
活かせるのだろうか...？



**OFF-JTを活用した育成が効果的**

# どこを育成するのか？

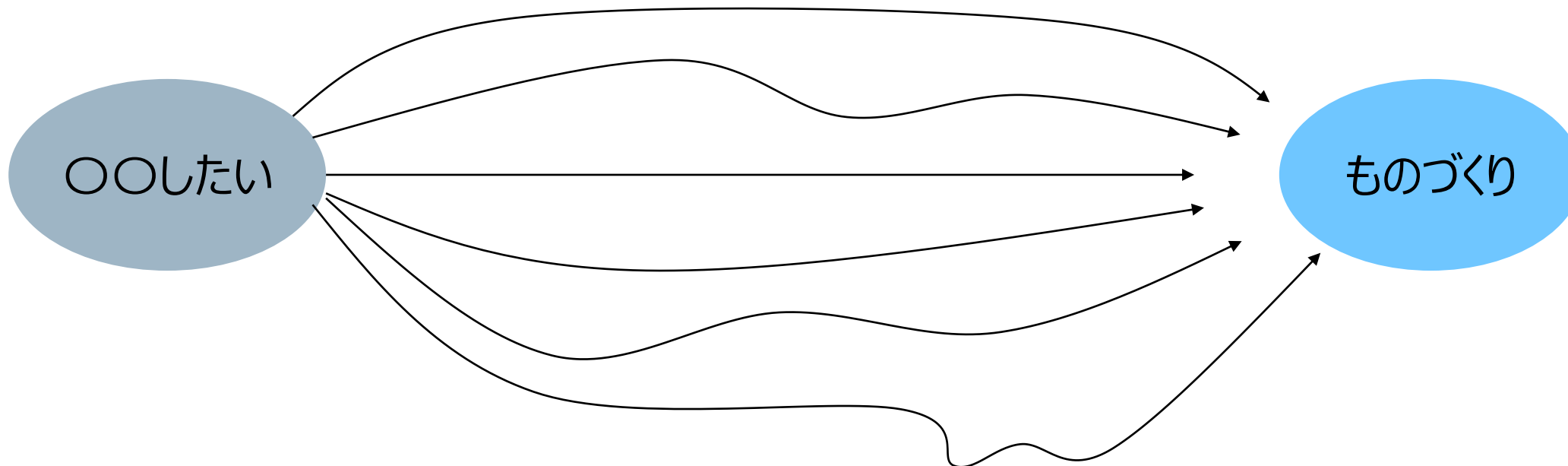
最も広範囲なアーキテクチャの検討領域に注目





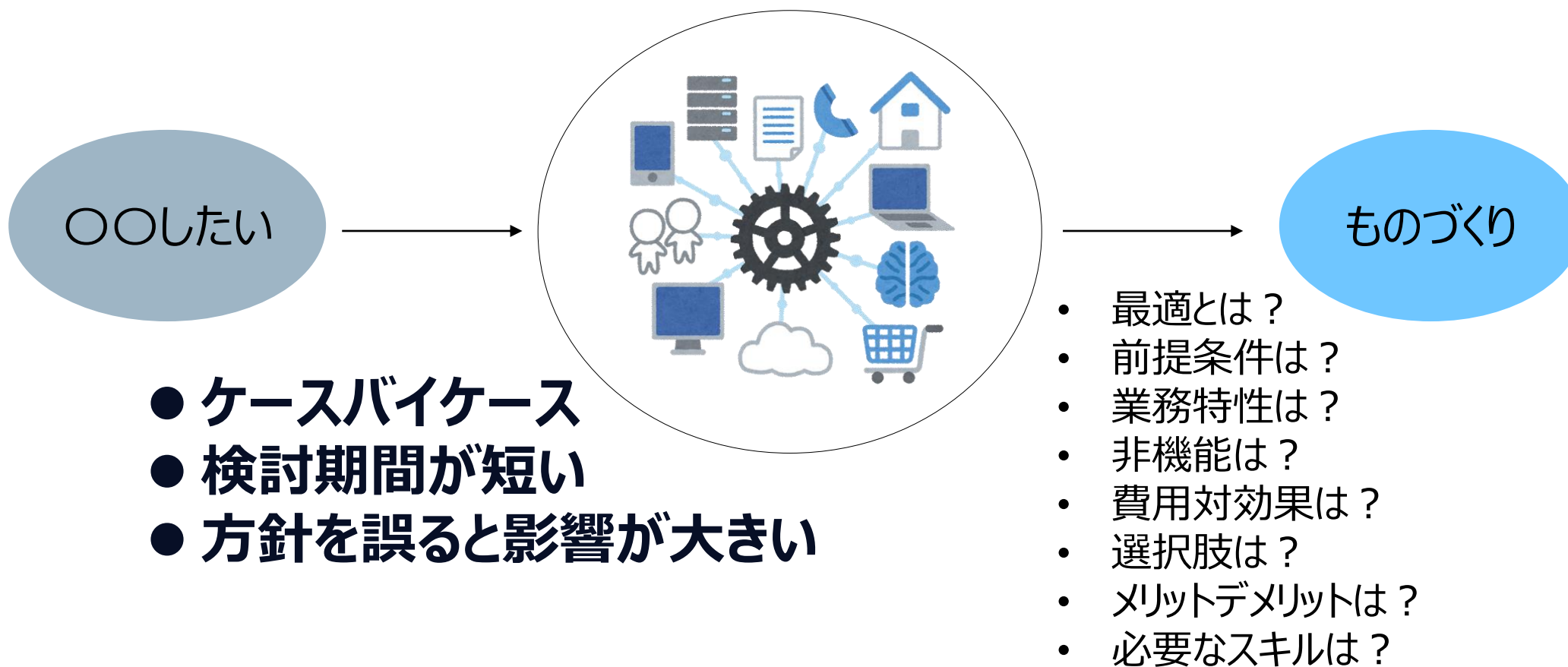
# アーキテクチャ検討領域に求められるスキル

今回は**どの道が最適**なんだろうか？



# アーキテクチャ検討領域に求められるスキル

クラウドの知識を活用した**問題解決**



# アーキテクチャ検討領域に求められるスキル

## トレーニング可能

- 高頻出のクラウド問題解決テーマも多い
  - 検討プロセスも慣れの要素あり



- **AWSの独自研修 (CloudBasket)**
- **を開催することでトレーニング実施**
- 方針を誤ると影響が大きい

- 選択肢は?
- メリットデメリットは?
- 必要なスキルは?

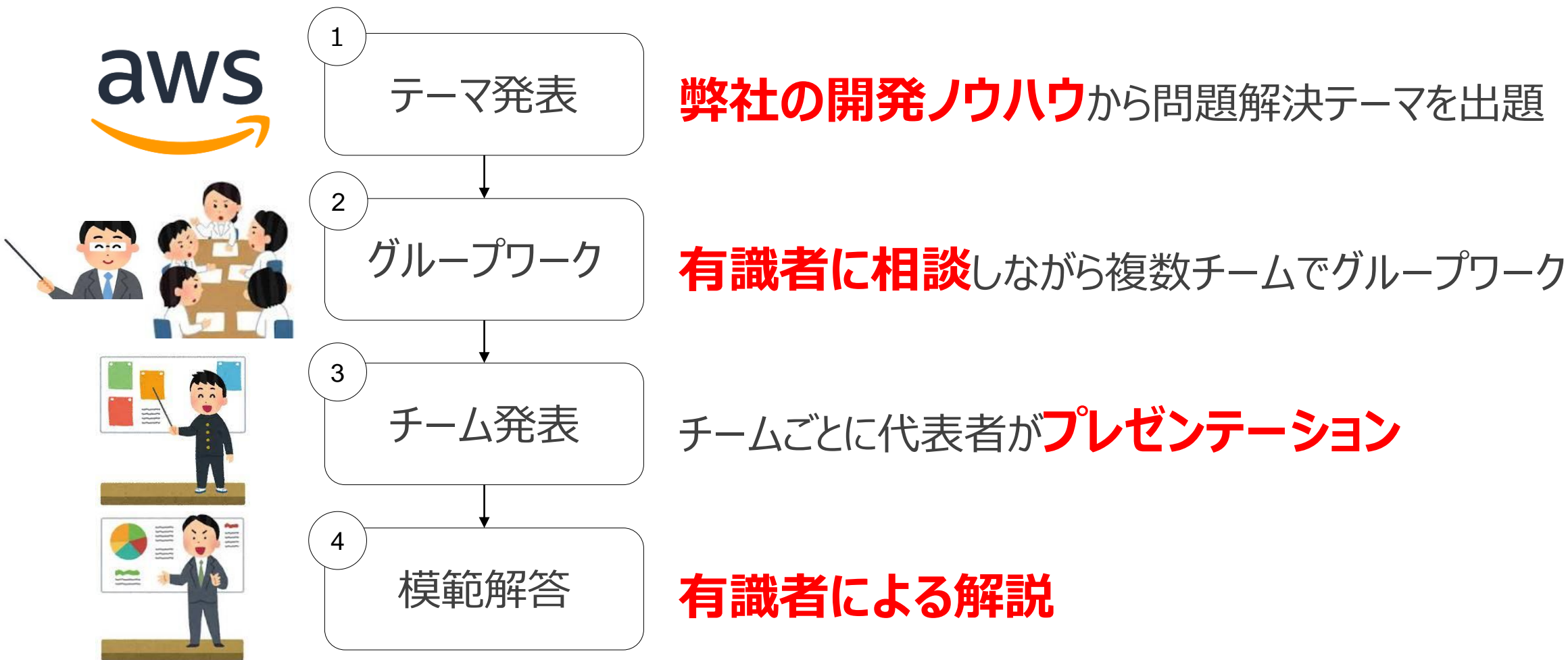


# 02

## CloudBasket研修について

# CloudBasket研修の流れ

研修は約2h/回、**複数回開催**





# 問題のサンプル

あなたたちは、大手キャリア様を相手にしたシステム開発リーダーとして従事しているクラウドエンジニアです。ある日、新規サービス開発へ向けた検討中にAWSを活用したシステムアーキテクチャについて相談がございました。

お忙しいところありがとう、新規サービス開発の検討を進めているのだけど、やりたいことが山盛りになっており非常に大規模なシステムになりそうなんだよね、とはいえある程度の分類に分けて検討を進めていこうと思っているので、個別の機能検討内容について相談させてほしいんだ。

今回はWebのアーキテクチャについて相談したいのだけど、実行基盤はコンテナで考えているんだよね。API GatewayやLambdaのようなサーバレスも考えたけど、まずはモノリスにしたコンテナでのデプロイで開発のスピードやテストのメリットを享受しようかなと。ただ、AWSのコンテナ実行のサービスは複数あるみたいなので、どんなパターンがあって我々はこういったサービスを採用したらよいか検討のアドバイスをもらえるかな？

あと最近脆弱性についてニュースになっていたよね。コンテナも脆弱性管理が必要と聞いたけど、AWSってどのようなサービスで脆弱性を検知できるんだっけ？ 検知できるサービスは複数あると聞いたことがあるので、よかったらその違いについても説明してもらえるかな？ 検知したらSlackに通知するような運用を考えたいので、余力があればこちらの方式についても推奨案をアドバイス頂けるかな？

ちょっと席を外すので、1時間後にこちらの内容についてパワポ3～4枚程度でまとめてもらえるかなー。かなり急な依頼で申し訳ないけど、よろしくね！

# 知識の使い方をトレーニング

## 知識の習得

### 資格取得等の個人ワーク、正解は1つ

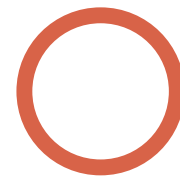


知識を身につけたが、課題を見極められず、わかりやすく表現できない状態

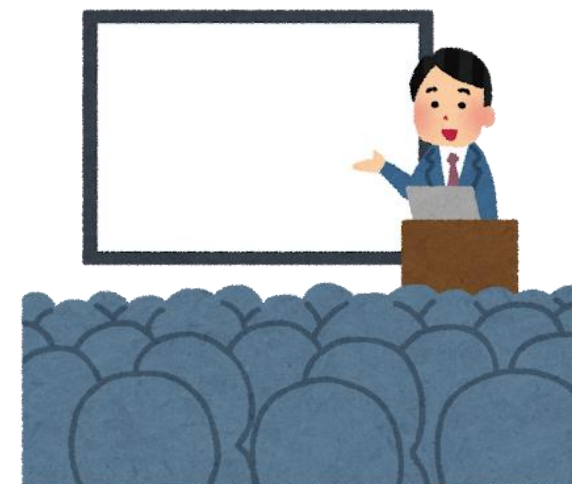


## 知識の活用

### 時間内にチームでアウトプット、正解は複数



課題を見極め、有識者へヒアリングしつつ、ストーリーを描き、時間内にアウトプットできる状態



# 学習効果

**複数回繰り返す**ことで実務で求められるクラウドの問題解決能力をトレーニング！

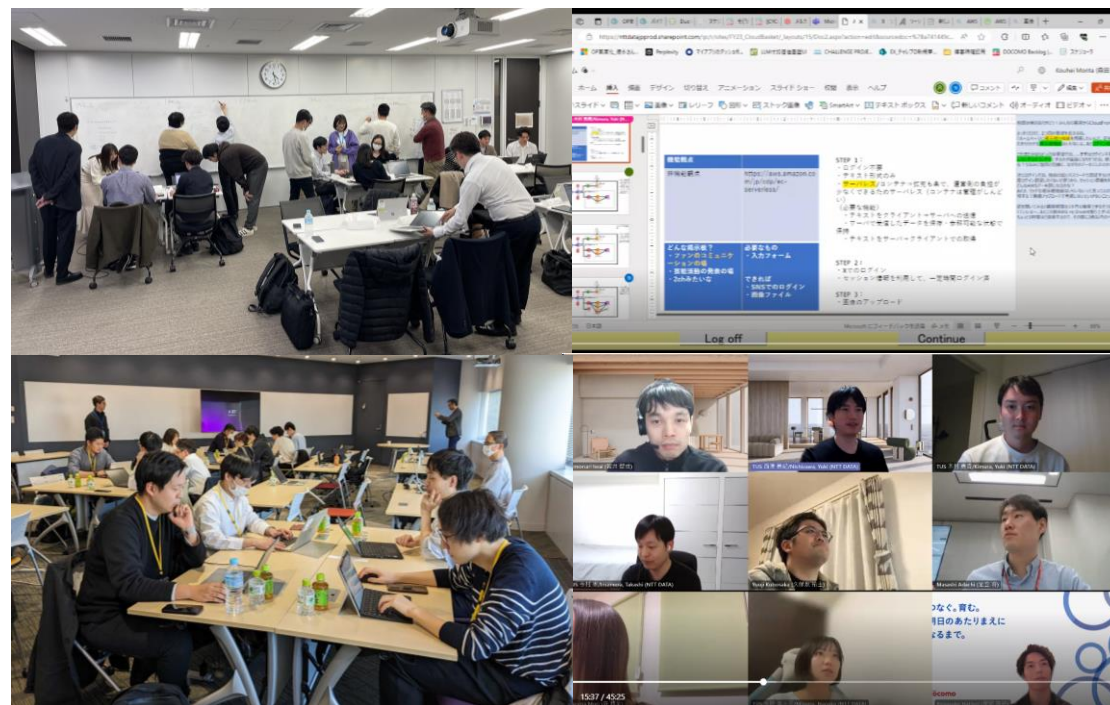
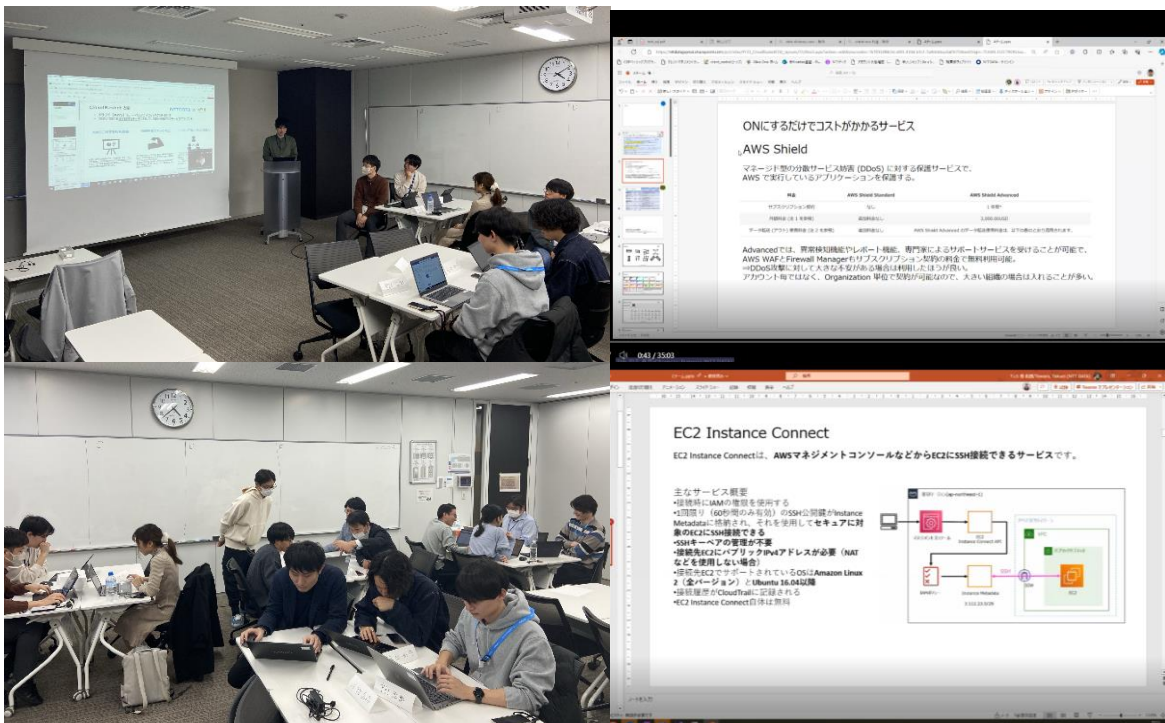
技量	内容
ファシリテーション力	時間配分やチーム内の役割分担等、ゴールへ向けた場のデザイン
コミュニケーション力	初対面でも成果を出す進め方、短期間での関係構築
問題解決能力	課題の特定、分析、解決策へ向けた道筋を立案
アウトプット力	限られた時間での調査力、パワポで要点をまとめる力
プレゼンテーション力	周囲にわかりやすく表現する力
調査力	外部検索スキル、最近ではAIの活用も効果的
ヒアリング力	質問の工夫、質問に対する心理的ハードルを下げる
観察力	他者の進め方/アウトプットを参考に真似することによる成長
リレーション構築力	参加者/アドバイザー等のエンジニアとの継続的なつながりを形成
技術力	クラウドサービスの特徴を理解し、技術の使い方/選択肢を学習

# 開催事例

## FY22から研修をスタート。反響が大きく徐々に拡大！

### NTTデータの社内で開催

### お客様との開催



# CloudBasket研修について

ご興味のある方はぜひご連絡ください！

## ■ ご相談窓口

NTTデータ CloudBasket事務局 [cloudbasket@hml.nttdata.co.jp](mailto:cloudbasket@hml.nttdata.co.jp)

NTTデータ モバイルビジネス事業部 西澤勇紀 [Yuki.Nishizawa@nttdata.com](mailto:Yuki.Nishizawa@nttdata.com)



The image features a low-angle, wide shot of a modern city skyline under a clear blue sky. Two prominent skyscrapers with white facades and dark window bands are the central focus. Other buildings of varying heights and architectural styles are visible in the background and foreground. The overall scene is brightly lit, suggesting a clear day. The text 'NTT DATA' is superimposed in the center of the image in a bold, white, sans-serif font.

**NTT DATA**